

第 13 回 大阪市 PCB 廃棄物処理事業監視委員会 会議要旨

1 日 時 平成 21 年 3 月 25 日 (金) 午後 2 時 ~ 午後 4 時半

2 場 所 此花会館 3 階 3 0 2 ・ 3 0 3 会議室

3 出席者

(専門委員)

中地副委員長、中室委員、花嶋委員、渡辺委員

(市民委員)

宮川委員、神谷委員

(環境省)

高橋廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長補佐

(日本環境安全事業株式会社)

斉藤事業部長、木村事業部上席調査役、清水大阪事業所長、志村大阪事業所副所長

(環境局)

木村事業部長、鈴木事業部産業廃棄物規制担当課長

(オブザーバー)

曾和 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課主幹

杉原 京都府文化環境部循環型社会推進課主査

須合 大阪府環境農林水産部環境管理室事業所指導課副主査

大治野 兵庫県健康生活部環境管理局環境整備課

高良 和歌山県環境生活部環境政策局廃棄物対策課副主査

4 議 題

(1) 大阪 PCB 廃棄物処理事業の進捗について

(2) 環境モニタリング調査について

(3) その他

5 議事要旨

- (1) 日本環境安全事業(株)から大阪PCB廃棄物処理施設の操業状況について説明があり、次のような意見があった。

意見等の概要

- ・ 操業三年目ということであれば、そろそろ清掃が行き届かない部分の作業環境にはほこりがたまってしまう。蒸気状のPCBはほこりに付着してしまうので、普段行っている装置の清掃だけでなく作業環境の掃除も必要なのではないか。
- ・ アルカリ水の誤払出のトラブルについてであるが、普段保管されている段階からドラム缶の色を変える等が良いと思われる。
- ・ 作業環境の温度について、暑くなると作業員もマスクをはずしたくなるようになることも考えられるので、対策をお願いしたい。

- (2) 本市より環境モニタリング調査について説明を行った。

意見の概要

- ・ ベンゼンの環境影響について、事業所から排出されたベンゼンがどれくらい環境に影響しているのかは、排出量と拡散から計算できるかと思うので、検討していただきたい。

- (3) 日本環境安全事業(株)から大阪PCB廃棄物処理施設運転開始2年後内部技術評価結果について説明があった。

- (4) 今後の対応

操業については再度安全・安心で緊張感を持って処理事業を進めていただきたいとの意見が各委員からもあり、上記の意見をふまえ、今後も住民と行政共にPCB廃棄物処理事業について当委員会を通じ、監視していく。

6 会議資料

資料(1) 大阪PCB廃棄物処理事業の進捗について

資料(1) 参考資料

資料(2) 平成20年度 環境モニタリング調査結果について

資料(3) 大阪PCB廃棄物処理施設運転開始2年後内部技術評価結果について

7 次回開催予定

平成21年8~9月

8 問い合わせ先

環境局 事業部 産業廃棄物規制担当

TEL 06-6630-3289

FAX 06-6630-3581